

# 付録1. 用語集

## 【あ行】

- ・インスタンス

財務情報を記述した文書。勘定項目名や情報の表示構造などはインスタンスが従うタクソノミー。

## 【さ行】

- ・サービスバス

ESB(Enterprise Service Bus)が主要な機能。SOAに基づき、アプリケーションやシステムを「サービス」として繋げる基盤。これにより各業務システムに高い独立性を持たせ、関連するアプリケーションの変更などの影響を受けにくくする。

- ・ジョブスケジューラ

システム全体の業務について、スケジュールから監視・制御までの操作を簡素化する機能の総称。ジョブ自動実行、ジョブ監視・操作、ジョブ履歴表示の機能がある。

- ・ジョブ定義

バッチジョブを定義する情報の集まりです。

以下の定義情報で構成されます。

- －基本情報
- －終了条件定義
- －ステップ定義
- －環境変数定義

- ・シングル・サインオン (Single Sign-On)

ユーザが一度認証を受けるだけで、許可されているすべての機能を利用できるようになるシステム。

- ・スタンドアロン (stand alone)

コンピュータを他のコンピュータと接続せずに利用する形態。

- ・生体認証 (バイオメトリクス認証 : biometrics authentication )

指紋や眼球の奥の虹彩、あるいは声などの身体的特徴によって本人確認を行なう認証方式のこと。暗証番号やパスワードなどに比べ、原理的に極めて「なりすまし」しにくい認証方式である。顔を認識する技術や、ペンでサイン(署名)する際の筆圧や速度などの運動力学的特徴を利用する技術など、ユニークなものもある。

- ・ソフトフォン

PC、PDA (個人用情報端末装置) 等をIP電話として利用するためのソフトウェアのこと。

## 【た行】

- ・タクソノミー

勘定項目名やその親子関係など、財務情報を電子的に表現するために必要な情報を定義したもの。

- ・ダッシュボード

チャートや表形式で表示する監視ビュー。

- ・ディザスタ・リカバリ

災害からの復旧の意味。地震・火災・水害・テロなど突発的な災害により致命的な打撃を被ったシステム障害の復旧作業。また、その危機管理体制。

## 【た行】

- ・多次元キューブ  
データを多次元的に分析するための多次元データベースです。
- ・帳票マネジメント  
安心・安全なセキュリティ環境において、様々な帳票を集約し、活用・印刷・配信・廃棄などの帳票のライフサイクルをトータルに管理し、コスト削減、情報活用を促進させる考え方です。
- ・データマート  
データウェアハウスが倉庫とすれば、データマートはスーパーマーケットに例えることができます。データウェアハウスのデータがエンドユーザーの要求に合わせてコンパクトに整理されており、エンドユーザーは必要な情報をデータマートから簡単に取り出すことができます。
- ・データマイニング  
企業から発生する膨大なデータの中から統計・数学的技法を用いて、隠れた規則やノウハウを見つけ出し、わかりやすく分類する技法。
- ・テキストマイニング  
リレーショナル・データベースを対象にしたROLAP、多次元データベースを対象にしたMOLAPがあります。企業から発生する膨大なデータの中から統計・数学的技法を用いて、隠れた規則やノウハウを見つけ出し、わかりやすく分類する手法です。
- ・トランザクション (transaction)  
関連する複数の処理を一つの処理単位としてまとめたもの。  
例えば、銀行の口座振替えでは、元の口座の残高を減らす処理と振込み先の口座に加算する処理は一連の処理であり、片方の口座を変更した時点で障害が発生し、処理が中断してしまつては不整合が生じる。このように出金処理と入金処理は、どちらも成功かどちらも不成功であることが要求され、どちらかが不成功の場合は一切の処理を元に戻さなければならない。こういった一連の処理をトランザクションという。
- ・ドリルダウン  
多階層の情報において、下階層の具体的内容を表示すること。

## 【は行】

- ・バッチジョブ定義  
ジョブ定義とプロシジャ定義の総称。
- ・プレゼンス  
相手の状態、状況、および居場所などを表す情報。
- ・プロシジャ定義  
プロシジャを定義する情報の集まり。  
以下の定義情報で構成されます。
  - －基本情報
  - －ジョブステップ定義
- ・フロントシステム  
人が直接操作し遂行する、ITシステムを活用した業務システム。
- ・ポータル  
複数の箇所に点在するさまざまな情報にアクセスするための入り口（ポータル）を意味する。

## 【ま行】

- ・ミッション・クリティカル (mission critical)  
システムダウンをすると社会的に大きな影響を及ぼすシステムのこと。信頼性が特に重要視されることもあり、多くはメインフレームで構築されているケースが多いが、最近ではWindowsNTのようなデスクトップパソコンから発展してきたコンピュータを、いかにミッション・クリティカルなアプリケーションに対応できる可用性(Availability)を持たせ、コストダウンにつなげるかが高い関心を呼んでいる。

#### 【ま行】

- ・メッセージ  
アプリケーションが交換するデータの単位。
- ・メディエーション機能  
サービス間におけるインタフェースを調整するための機能です。インタフェースを調整するための部品を標準提供しています。
- ・モックアップ  
Webシステムの開発で、システム設計者がユーザへの要件や動作仕様の具体的なイメージを確認するために、HTMLなどで画面レイアウトや動作を表現すること。

#### 【や行】

- ・ユビキタス (ubiquitous)  
いつでも、どこでも、誰でもコンピュータとネットワークを利用できる環境のこと。

#### 【ら行】

- ・ロール  
ロールは、組織体系（職位、職務など）や公開業務単位にユーザが利用可能なサービスを制御するための単位。ロールは、運用管理者、またはロール管理者によって設定されます。ロールごとに付けられた名称をロール名と呼ぶ。

## 【記号】

- ・ .NET

2000年6月22日、米Microsoft社が発表した次世代ソフトウェアおよびサービス構想(プラットフォーム)。ドットネットと呼ぶ。

以前、Microsoft社がNGWSと呼んでいたもの。

## 【A】

- ・ Ajax

Asynchronous JavaScript and XML : HTML/XHTML/CSSなどの既存の技術を組み合わせたWebアプリケーション構築手法。表示されているページ全てを再読み込みすることなく、ユーザインターフェースを逐次更新できるようになり、処理性能向上と高い操作性が実現できる。

- ・ ANSI X.12 (American National Standard Institute X.12)

米国企画協会で制定されたEDIフォーマットの米国標準。

- ・ Applet

WWW (World Wide Web) ブラウザ上で動作するJavaプログラムを特にJavaアプレットと呼ぶ。JavaアプレットはWWWサーバからダウンロードし、アニメーションや音声、動きのあるWWWページなどをWWWブラウザ上で実行させることが可能。また、クライアント/サーバ・アプリケーションの作成にも利用できる。サイズも小さく、セキュリティの面でも配慮されている。

## 【B】

- ・ B to B (Business to Business)

企業同士が行うEC (電子商取引)のこと。

- ・ B to C (Business to Consumer)

企業と個人間で行うEC (電子商取引)のこと。

- ・ B to E (Business to Employee)

企業が社員に対して行なう電子商取引 (例えば社員販売制度) のこと。

- ・ BAM (ビジネス・アクティビティ・モニタリング)

業務の実施状況や実績 (パフォーマンス) を監視すること。

- ・ BI (Business Intelligence)

業務システムなどから蓄積される企業内の膨大なデータを、蓄積・分析・加工して、企業の意思決定に活用しようとする手法。ERPパッケージやCRMソフトなどからもたらされるデータの分析を専門家に依存せず、経営者や社員が必要な情報を自在に分析し、経営計画や企業戦略などに活用することを目指している。

- ・ BPM (ビジネス・プロセス・マネジメント)

業務のプロセスや活動を定義、監視、分析することにより、業務改善を継続的に行うための管理手法。PDCAサイクルを通じて業務改善を継続的に行う取り組みであり、「プロセス」と「業務状況」の可視化がポイントになります。人間の作業とシステム動作を含んだプロセス全体の状況がわかることで、ビジネス環境の変化に対して改善ポイントを明確にできます。

- ・ BPEL

Business Process Execution Language。

## 【C】

- ・ cHTML (Compact Hypertext Markup Language)  
携帯電話用のWebページを作成するための記述言語。HTMLのサブセットになっている。
- ・ CII (Center for the Informatization of Industry)  
(財)日本情報処理開発協会・産業情報化推進センターで制定されたEDIフォーマットの国内標準。
- ・ CORBA (Common Object Request Broker Architecture)  
CORBAは、OMG (Object Management Group:オブジェクト指向技術標準化団体) が規定したオブジェクト指向の分散処理環境を実現するための国際標準仕様である。  
オブジェクトとして実現する各サービス (アプリケーションやセキュリティなど) と、クライアントとのサービスの橋渡しを行うORB (Object Request Broker) に対して、これらの役割やインタフェースなどを定めている。CORBAでは、CORBAに準拠したシステム間での相互接続および異なるシステムへのアプリケーションの移行ができる。また、オブジェクトの物理的な位置や名称をORBと呼ぶ機能により一括管理しているため、システムの追加/変更が柔軟に対応できる。

## 【D】

- ・ DOPG (Distributed Object Promotion Group)  
分散オブジェクト技術を企業情報システムの基盤として普及させるとともに、相互接続性の検証を主な活動内容とし、日本の情報システムの発展に貢献することを目的に活動する非営利団体。会員は分散オブジェクト製品を提供する国内外のコンピュータ・ベンダやソフトウェア・ベンダで構成。業界各社のWebサービス相互接続性の実証実験を実施。
- ・ DWH (Data WareHouse)  
データウェアハウス。従来の基幹系業務システムとは別に、基幹系業務システムのデータベースからデータを抽出、再構成した情報分析のためのデータベースである。データウェアハウスは大福帳システムとよく比較されるが、大福帳はデータの蓄積方法であるのに対し、データウェアハウスは、データの活用方法であると考えられる。

## 【E】

- ・ EAI (Enterprise Application Integration)  
企業の異なる業務システムや、企業間のシステムを相互に連携し、プロセスやデータを統合するための技術。
- ・ ebXML (Electronic Business XML)  
OASISと国連機関のUN/CEFACTが策定している電子商取引に関するXMLの仕様。電子商取引における世界標準のデータ交換手法を規定・確立する。
- ・ EC (Electronic Commerce)  
電子商取引。商取引に伴う書類の作成や受け渡しなどを包括的に電子化すること。電子的なデータ交換という意味ではEDIと同様だが、EDIが政府や公共団体の利用なども含めた一般的なデータ交換に利用されるのに対し、ECは適用範囲を商取引に限定する。EDIやCALSはECの一部として位置づけられている。
- ・ Eclipse  
オープンソースとして公開されている統合開発環境 (IDE)。もともとはIBM社が自社のアプリケーション・サーバ用の開発環境として1999年4月に開発を開始したものであるが、2001年11月にオープンソースコミュニティにソースが寄与された後は、Eclipseプロジェクトで開発が続けられている。Eclipseのプラグイン機能を使用することで開発環境を拡張することが可能。
- ・ EDI (Electronic Data Interchange)  
電子データ交換。コンピュータネットワークを介して電子的にビジネス文書等のやりとりを行うこと。

## 【E】

- ・ EDI-INT (Electronic Data Interchange-Internet Integration)  
S/MIMEでデータ交換を行う場合のメッセージフォーマットの国際標準。米国コンソーシアムであるCommerceNetが認定マークを発行。
- ・ EJB (Enterprise JavaBeans)  
Javaで開発したソフトをアプリケーションの部品として扱うための規約「JavaBeans」のサーバ版。ソフト部品の実行環境となるコンテナをEnterprise Java Beans Server (EJB Server)と呼び、このEJB Serverが分散メッセージング機能や2フェーズ・コミット処理を実行する機能、セキュリティ機能などをあらかじめ備えている点がJavaBeansとは異なる。ソフト部品の開発者は、サービスをほかのソフト部品へネットワーク経由で提供するための機能やトランザクション処理エンジンを使うための機能を実装する必要がない。ソフト部品として提供する機能の開発に専念できることがEJBを使うことの開発者にとってのメリットとなる。  
EJBの規定により作成された部品 (Enterprise Bean) は、EJBの規定で作成されたどのような環境（プラットフォーム、ネットワーク、ミドルウェアに無依存）でも動作する。
- ・ ETL (Extract/Transform/Load)  
企業の基幹系システムなどに蓄積されたデータを抽出 (extract) し、データウェアハウスなどで利用しやすい形に加工 (transform) し、対象となるデータベースに書き出す (load) こと。また、これら一連の処理を支援するソフトウェア。
- ・ ESB (Enterprise Service Bus)  
SOAに基づいたアプリケーション統合のインフラストラクチャとなるマルチプロトコルをサポートする高機能なメッセージバス、あるいはそれを含む統合型ミドルウェアテクノロジー、ミドルウェア製品のことです。Webサービスなどのオープンな標準仕様に準拠して開発されたサービス（アプリケーションやコンポーネント）を相互連携させることができます。

## 【G】

- ・ GLOVIA (グロービア)  
GLOVIA (グロービア) は多くのお客様への導入実績を持つ富士通の統合業務ERPソリューションです。GLOVIAは統合業務ソリューションとして「経営の可視化」「迅速な意思決定」を実現します。会計業務など様々な業務システムの統合・生産効率に向けてトータルサポートしています。

## 【I】

- ・ ISI Studio (Interstage Service Integrator Studio)  
ISIプロジェクトの作成、管理、運用環境への配置までの一連の作業を支援する開発環境です。エンドポイント、メディエータファンクション、シーケンス、インタフェース調整などがビジュアルにわかりやすく定義できます。

## 【J】

- ・ J2EE (Java 2 Enterprise Edition)  
米Sun Microsystems社が1999年6月に発表したサーバ側Java実行環境。  
Web対応の基幹システムを構築するための技術群。トランザクション処理を含む業務ロジックを部品化する「EJB (Enterprise JavaBeans)」、Webサーバ側Javaプログラム・モジュール「Servlet」、動的HTML生成技術である「JSP (JavaServer Pages)」などから構成する。
- ・ Java Beans  
Javaで開発したソフトをアプリケーション部品として扱うための規約。開発したソフトが提供するサービスを別のソフトから利用するために必要となる手続きなどを規則として定めた仕様で、部品となるソフトが備えなければならないインタフェースやソフト部品が提供しているサービスを利用するための処理手順などを定めた規則である。こうしたJavaBeansの規約が規定しているインタフェースを備えたソフト部品のことを「Bean」と呼んでいる。

## 【J】

- ・ JSF (JavaServer Faces)  
入出力フィールド、ボタンなどのUIコンポーネントの開発と利用を容易にするイベント駆動型のJava標準フレームワーク。
- ・ JSP (JavaServer Pages)  
HTTPやXML中にJavaプログラムコードやコンポーネントを埋め込むことで動的なWebページの作成を容易にする技術であり、ASP (Active Server Pages) 同様の機能を有する。ASPがVBスクリプトを使用するのに対し、JSPではJavaそのものを使用。

## 【K】

- ・ KPI (Key Performance Indicator)  
イベント発生指標。

## 【L】

- ・ LDAP (Lightweight Directory Access Protocol)  
X.500ベースのディレクトリ管理用のデータベースに接続するためのプロトコル。  
ディレクトリ・サーバ上のディレクトリ情報の作成、変更、削除、検索などの操作が可能。サーバOSを始め、グループウェア製品などへの実装が進んでいる。  
IETFで標準化されRFC1777、バージョン3がRFC2251としてドキュメント化されている。Unicodeの使用で日本語なども使える。
- ・ Linkexpress  
Linkexpressは、マルチプラットフォーム間を高信頼かつ簡単につなぐデータ連携製品で、分散システムのファイル転送とデータベース連携、業務構築支援を効率的に行います。  
大規模から中小規模までミッションクリティカルな業務に対応し、システムの構築から日々の運用までを確実・スピーディーに実現します。

## 【M】

- ・ MOM (Message Oriented Middleware)  
互いに異なるシステム間でのメッセージベースの非同期通信を提供するミドルウェアである。MOMを使用することで、運用時間や運用形態の異なるシステムの統合、異なるサービスインフラ(例えば、グループウェアと基幹系処理)の統合、オペレーティングシステムやアーキテクチャーの異なるシステムの統合といったことが実現可能となる。

## 【O】

- ・ OLAP (Online Analytical Processing)  
企業活動のための多次元技法(地域軸、商品軸、時間軸など)によって、効果的かつスピーディーにデータを分析すること。リレーショナルデータベースを対象にしたROLAP、多次元データベースを対象にしたMOLAPがある。
- ・ OMG (Object Management Group)  
分散オブジェクト技術の標準化団体。世界中から700以上のソフトウェア関連企業が参画している。分散オブジェクトをネットワークで、ハードウェアやOSに関係なく共有化し、統合するアーキテクチャーの開発を目的として、その標準仕様であるCORBA (Common Object Request Broker Architecture)を策定している。

## 【Q】

- ・ QoS (Quality of Service)  
マルチメディア、ネットワークにおけるサービス品質。帯域制御、伝送遅延の制御など。

## 【R】

- ・ RFID (Radio Frequency Identification)  
微小な無線チップにより人やモノを識別・管理する仕組み。

## 【R】

### ・RosettaNet

コンピュータ産業と電子部品産業における、サプライチェーンの大幅な効率化を目指すコンソーシアム名。システムの観点からではなく、ビジネスの観点からビジネスプロセス・各システムの共通インターフェースを作成することで各社間のビジネス上の情報交換を容易にし、調達や販売コストの削減を目的としている。従来のEDIメッセージではなく、XMLを本格的に使用したプロトコルを採用している。

## 【S】

### ・Servlet

Servletは、WWWサーバ上で稼動するjavaプログラムであり、HTTPによるユーザの要求を受けて動作する。ほとんどの主要Webサーバ・ソフトでは利用可能な技術である。Webサーバで標準的に利用されているCGI (Common Gateway Interface) は、ユーザのリクエストごとにCGIアプリケーションが1プロセスとしていちいち起動する格好となる。Servletでは、1プロセスの中のスレッドとしてリクエストを処理できる。

### ・SIGMA検索技術

九州大学有川節夫特任教授と研究グループが開発した一方向逐次処理による高速文字列照合アルゴリズム。

### ・SIP (Session Initiation Protocol)

セッション開始プロトコル。インターネットに関連する技術の標準化団体IETFで標準化された、IPネットワーク上でマルチメディアセッションを確立、変更、および終了するための、アプリケーション層のシグナリングプロトコル。

### ・SIP/SIMPLE : SIP (Session Initiation Protocol)

IP電話、ビデオ会議などを実現するプロトコルです。SIMPLE (SIP for Instant Messaging and Presence Leveraging Extensions) とは、SIPを拡張してプレゼンス (人、モノ、情報などの今の状態) を交換するプロトコル。

### ・SOA (Service Oriented Architecture ; サービス指向アーキテクチャ)

情報システム全体をサービスの集まりとしてとらえ、ハードウェアやOS・言語に依存せず、共通インターフェースを通じ、自由に連携・利用できるシステム構造を規定するソフトウェアアーキテクチャー。

### ・SOAP (Simple Object Access Protocol)

XMLやHTTPをベースに、OSやオブジェクト・モデル、プログラム言語に関係なく、インターネットまたはイントラネットのアプリケーションやサービスの連携を図るためのプロトコル仕様。1998年4月に米UserLand Software社、米Microsoft社、米Developmentor社が開発を始め、2000年5月9日に11社が共同でSOAP 1.1をW3Cに提出した。

### ・SSL (Secure Sockets Layer)

インターネットで安全に通信を行うための暗号通信プロトコルである。WWW (World Wide Web)サーバとWWWブラウザの間でやりとりするデータをSSLを使用して暗号化することにより、第三者による盗聴やなりすまし、データの改ざんなどを防ぐことができ、インターネット上で安全な通信を行える。

### ・SWAP (Simple Workflow Access Protocol)

インターネット環境でワークフローエンジンがワークフローの情報を交換するプロトコルとして、Netscapeが中心となってSWAPを提案した。

SWAPでは、XMLで記述されたワークフローデータをHTTPを拡張としたプロトコルで交換する。現在、Wf-XMLという名前で標準化が進められている。

## 【S】

- ・ Symfoware Server (シンフォウェアサーバ)  
クライアント/サーバ構成のワークグループ・小規模システムから、インターネット・アクセスによる中大規模システムまでをカバーする高信頼データベース。安定稼働と省力運用を実現する。

## 【U】

- ・ UCC/EAN-128  
UCC/EAN128は、バーコードの一種であり、GS1USU (UCC [Uniform Code Council] 米国コードセンター) によって開発され、国際EAN協会によって規格承諾されたため命名されました。消費者、利用者の安心/安全に関するニーズが高まってきている昨今、医療ミスに対しても類いまれなく関心が高まっています。  
コンビニバーコード(料金代理収納)としても広く使われています。
- ・ UML (Unified Modeling Language)  
オブジェクト指向のソフトウェア開発における、プログラム設計図の統一表記法。Rational Software社のGrady Booch氏、James Rumbaugh氏、Ivar Jacobson氏の3人によって開発された。
- ・ UN/EDIFACT (United Nations/Electronic Data Interchange For Administration, Commerce and Transport)  
国連で制定されたEDIフォーマットの国際標準。

## 【V】

- ・ Valuevision TM  
業務、経営、ITを可視化・連携させることにより、継続的な改善を実現するソリューション。
- ・ VoiceXML (Voice Extensible Markup Language)  
Webベースの音声対話システムの開発が可能なXMLベースのマークアップ言語。音声入力・出力、対話処理などをXMLで記述できる。W3CとVoiceXML Forumが共同で策定している。
- ・ VoIP (Voice over Internet Protocol)  
IPネットワークを使って音声データを送受信する技術。音声信号を圧縮してパケット変換したうえで、伝送路をデータ通信網と共用して伝送できるため、通信コストを抑えることができる。

## 【W】

- ・ WS-I BP  
世界160社によるWebサービスの相互接続推進団体 (WS-I)が規定したガイドライン。

## 【X】

- ・ XPDL  
XML-Base Process Definition Language。
- ・ XML (eXtensible Markup Language)  
インターネット上で様々なコンテンツを扱えるよう設計した記述言語。  
文書そのものを記述するための言語ではなく、特定の用途に応じた文書の論理構造や意味構造、タグを定義するためのメタ記述言語である。

## 付録 2. 模擬問題

### Interstage Certified Associate 模擬問題

試験時間 : 45分

合格ライン : 正答率 80%以上

問1. Interstage V9 製品の中で、「オープンな統合開発環境を充実したコンポーネント、ツール群で Web システムの迅速・容易な開発を支援」する役割を担う「Development Suite」カテゴリに位置づけられる製品として、正しいものを解答群から選択してください。

**【解答群】**

1. Interstage Apworks
2. Interstage Studio
3. CentraSite
4. Interstage XWand

問2. J2EE の主な機能である「Servlet」の説明として、正しいものを解答群から選択してください。

**【解答群】**

1. 分散環境における Java ベースのサーバコンポーネントモデル
2. SQL 文を実行するための Java API
3. Java メッセージングサービス
4. Web サーバ上で稼動する Java プログラム

問3. SOA 関連の主な技術とその説明文の組み合わせとして、正しいものを解答群から選択してください。

**[技術]**

- ①SOA
- ②UDDI
- ③SOAP

**[説明文]**

- a. XML や HTTP をベースに、OS やオブジェクト・モデル、プログラム言語に関係なく、インターネットまたはイントラネットのアプリケーションやサービスの連携を図るためのプロトコル仕様
- b. 情報システム全体を「サービス」の集まりとしてとらえ、ハードウェアや OS、言語に依存せず、共通インタフェースを通じて、自由に連携・利用できるシステム構造を規定する、ソフトウェアアーキテクチャ
- c. Web サービスとして提供されるビジネスを登録・検索するためのレジストリ仕様
- d. ディレクトリ管理用のデータベースに接続するためのプロトコル

【解答群】

1. ① - b、② - d、③ - a
2. ① - c、② - a、③ - d
3. ① - c、② - d、③ - c
4. ① - b、② - c、③ - a

問4. 以下の説明文は Interstage が活用しているあるオープンソースについてのものです。説明文が表すオープンソースとして、正しいものを解答群から選択してください。

[説明文]

世界一のシェアを誇る、WWW サーバ用ソフトウェア (Web サーバ)

【解答群】

1. Tomcat
2. Apache
3. Eclipse
4. Struts

問5. Interstage で活用している主な標準技術とその説明文の組み合わせとして、正しいものを解答群から選択してください。

[標準技術]

- ①CORBA
- ②XML
- ③IPv6

[説明文]

- a. OMG により規定されたオブジェクト指向技術の国際標準仕様
- b. アドレス空間の増大やセキュリティ機能の追加、優先度に応じたデータの送信などの改良を施した次世代インターネットプロトコル
- c. SGML マークアップ言語のサブセットにあたる言語
- d. インターネット電話などで用いられている通信制御プロトコルであり、IP 電話、テレビ電話などのリアルタイム性が要求されるアプリケーションで活用可能

【解答群】

1. ① - a、② - d、③ - b
2. ① - d、② - c、③ - a
3. ① - a、② - c、③ - b
4. ① - c、② - a、③ - d

問6. Interstage Application Server を導入する [効果] として、最も適切なものを解答群から選択してください。

[効果]

- ① さまざまな負荷情報にもとづく分散機能によって、きめ細やかなトラフィック管理機能を提供し、Web システムや企業システムに要求されるパフォーマンスを安定性、拡張性の高いレベルで実現
- ② 情報(Web)と通信(SIP)のセッション管理を統合し、情報、通信どちらからでも統一的に制御する基盤により、Web と音声を融合させた新たな業務サービスの構築を短期間で実現
- ③ トラブルの事前回避と自動復旧で 24 時間 365 日の業務安定稼動を実現
- ④ ファイアウォール機能やアプリケーションゲートウェイ機能により、不正アクセスの防止、通信データの保護、ユーザー認証、内部サーバの隠ぺいなど、強固なセキュリティ管理を実現

【解答群】

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④

問7. Interstage Application Server の Interstage 管理コンソールの説明として、正しいものを解答群から選択してください。

[説明文]

- ① 一定時間で認証を無効にするアイドルタイムアウトや多重サインオン抑止など、アクセス制御・セッション制御機能を備え、適切な利用者認証、アクセス制御ができる。
- ② 複数のアプリケーションを1つの業務として操作可能とし、業務単位に資源の有効利用や異常復旧を自動的に行うことができる。
- ③ 業務の構築・起動・停止からプロセス多重度変更などの環境設定、実行時の資源消費や処理時間のモニタリングなど、業務の構築・運用のすべての操作を実行できる。
- ④ アプリケーションが動作しているサーバ(現用)で障害が発生しても、待機系サーバでアプリケーションを自動起動し、業務を引き継ぐことができる。

【解答群】

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④

問8. Interstage Application Server は、Web サービスに対応しており、SOA 適用システムの基盤としてサービスの構築・運用・連携を支援する運用環境を提供します。

Interstage Application Server が対応している Web サービスの相互接続規約について、正しいものを解答群から選択してください。

【解答群】

1. ebXML
2. CORBA
3. WS-I BP
4. LDAP

問9. Interstage Business Application Server の説明として、正しいものをすべて選択してください。

[説明文]

- ① バッチ処理の高速化と多重実行時の資源競合解消により、バッチシステムの計画運用と安定稼働を支援
- ② バックエンドアプリケーションを制御する、通信制御、データベース制御、トランザクション制御、ログ制御などの基幹業務に不可欠な高度な制御機能で高信頼なシステムの短期構築を支援
- ③ メインフレームやクライアントサーバシステムの再構築は、アプリケーションの業務ロジックだけを流用して、制御機能と組み合わせることでスピーディーに開発ができる。
- ④ EDI システム間または EDI システムと既存/新規業務システム間のデータ受け渡しを行うためのデータ連携機能を提供

【解答群】

1. ①、②
2. ②、③
3. ③、④
4. ①、②、④

問10. Interstage Business Application Server が提供する制御機能として、誤っているものを解答群から選択してください。

【解答群】

1. 通信制御機能
2. ログ制御機能
3. アドレス変換機能
4. トランザクション制御機能

問11. Interstage Job Workload Server のファイル排他機能について記述された以下の文章において、①、②にあてはまる語句の組み合わせとして、正しいものを解答群から選択してください。

【説明文】

ファイル排他機能では、バッチ処理の（①）にジョブ内で使用するすべてのファイルを排他獲得し、多重バッチ実行時における他バッチ処理との（②）によるバッチ処理の異常終了やファイル破壊を回避します。

【解答群】

1. ①実行前, ②ファイル連携
2. ①実行後, ②ファイル資源競合
3. ①実行前, ②ファイル資源競合
4. ①実行後, ②ファイル連携

問12. Interstage Service Integrator の特長として、誤っているものを解答群から選択してください。

【解答群】

1. 最新仕様準拠の XBRL フレームワークで財務情報の流通を支援
2. 業務パッケージ・アプリケーションと連携したシステム構築
3. 部品の組み合わせによるサービス連携定義
4. 既存データ（CSV、FLAT 形式）と XML の相互変換

問13. CentraSite の機能の説明として、誤っているものを解答群から選択してください。

【解答群】

1. サービス記述の国際標準言語 WSDL をサポートし、多様なパッケージやソフトウェアのサービス情報をインポートし登録
2. Systemwalker Service Quality Coordinator と連携でき、複数のサービスバスの運用状況を 1 ヶ所に収集
3. 利用部門や開発者・管理者などの役割に合わせて、適切なサービス情報へのアクセスを制御
4. 停止や変更の影響を受けるサービスを一覧表示、影響を受けるサービスの関係する利用者や管理者、アプリケーションの情報を一覧表示

問14. Interstage BPM Flow が提供する機能として、誤っているものを解答群から選択してください。

【解答群】

1. プロセスを構成する各作業には前処理と後処理を GUI 画面で設定
2. 業務滞留を防止するエスカレーション機能
3. 分析対象のデータを CSV ファイルのまま利用
4. Web ベースのモニタ画面で進捗確認が可能

問15. Interstage BPM Monitoring は業務データの監視として、イベントを逐次集計して最新の状況を可視化できます。提供しているセンサー機能として、**誤っているもの**を解答群から選択してください。

【解答群】

1. GSV/テキストセンサー
2. ESB センサー
3. RDB センサー
4. ログセンサー

問16. Interstage Interaction Manager が提供する機能の説明として、正しいものを解答群から選択してください。

[説明文]

- ① データベースに蓄えられたテキストに対し、ほんの数秒で検索して、表やグラフやマップで表示。
- ② プロセスやスレッドなどのサーバ資源を事前に獲得し、ワークユニット内で再利用。
- ③ 高機能な Ajax 用の部品の利用で Web アプリケーションの開発量を削減。
- ④ 不定長・不定数項目のデータ、形式の異なるデータ、途中から項目変更されたデータなどの形式を揃えずに格納・管理。

【解答群】

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④

問17. Interstage Realtime Communicator が提供する機能として、正しいものを解答群から選択してください。

[機能]

- ① 背景雑音抑制・非正常雑音棄却方式による雑音に強い音声認識機能
- ② 利用する携帯電話機に合わせてコンテンツを変換するコンテンツ変換機能
- ③ 利用者が必要なときに欲しい情報を取り出す PULL 型の情報配信機能
- ④ Web サーバから受信したデータを Web ブラウザに返信すると同時にデータをキャッシュする Web キャッシュ機能

【解答群】

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④

問18. Interstage Mobile Manager の機能について記述された以下の文章において、(①)、(②)に当てはまる語句の組み合わせとして、正しいものを解答群から選択してください。

[説明文]

(①)による画面定義だけで、携帯電話の機能を使用した携帯電話アプリケーションの開発ができます。作成した画面は、入力項目の妥当性チェック、次の入力フィールドへフォーカスが自動移動、ボタン1つで(②)が可能といった快適な操作性を提供します。圏外で使用したい画面は携帯電話にダウンロードしておくことで、圏外でも業務ができます。

【解答群】

1. ①XHTML、②絵文字の自動変換
2. ①cHTML、②データマイニング
3. ①XML、②赤外線通信
4. ①cHTML、②カメラ・バーコード読取

問19. Interstage 帳票ソリューション V9 の特徴として、**誤っているもの**を解答群から選択してください。

【解答群】

1. 現場で利用できる形式で出力し帳票活用を促進
2. 帳票の電子化・一元管理によりコストダウンを実現
3. アクセス制御とアクセスログ管理によりセキュリティを強化
4. 将来の拡張性を見据えた EDI システムを実現

問20. Interstage List Works の仕分け・配信作業の自動化機能について、**誤っているもの**を解答群から選択してください。

【解答群】

1. PDF 形式でのメール配信
2. FAX 配信
3. FTP 転送
4. プリンタ印刷

問21. Interstage List Creator の機能として、**誤っているもの**を解答群から選択してください。

【解答群】

1. 高精度なバーコード出力
2. 業務サービスのインタフェース差異を吸収する部品
3. 高品位・高速な PDF 生成
4. データ活用を飛躍的に高める Excel 出力

問22. Interstage Charset Manager の特徴として、**誤っているもの**を解答群から選択してください。

【解答群】

1. 電子化した CSV ファイルに出力して他アプリケーションで活用
2. Vista クライアントで入力された JIS2004 の 4 バイトコードが既存システムで流通しないよう、入力をブロック
3. Vista クライアントでも、XP クライアントでも、同じ字形の文字が使える
4. さまざまなアプリケーションで、外字を効率的に入力可能

問23. Interstage Navigator Server が提供する機能についての記述として、**誤っているもの**を解答群から選択してください。

【解答群】

1. 作成した定型レポートの Web 上での公開や、公開した定型レポートの自動更新・条件の変更による更新
2. テーブル、項目単位の設定だけでなくレコード単位でもデータ公開を制限
3. 処理能力の高い 64 ビット環境や大規模向け DBMS に対応しているため、大容量データに強い情報活用システムを構築
4. 業務指標 (KPI) を設定することにより、納期遅延などの異常を検出

問24. Interstage Navigator Server の機能として、**誤っているもの**を解答群から選択してください。

【解答群】

1. 分析対象のデータを CSV ファイルのまま利用
2. データベースと CSV ファイルを結合した利用も可能
3. 分析データが CSV ファイルの場合には、管理ポイントを使えない
4. 低コスト、短期間での導入が可能

問25. Interstage Shunsaku Data Manager について記述された以下の文章において、(①) ~ (②) にあてはまる語句の組み合わせとして、正しいものを解答群から選択してください。

[説明文]

形式の異なるさまざまなデータを、XML 形式のデータとして集約・一元化して、共通のキーで横串検索することができます。

データを「①」に格納し、「②」に検索・活用する Asis コンセプトの新しいデータベースエンジンです。

【解答群】

1. ①あるがまま、③瞬時
2. ①あるがまま、②思うがまま
3. ①リポジトリ、②瞬時
4. ①リポジトリ、③思うがまま

問26. Interstage XWand の機能についての説明として、誤っているものを解答群から選択してください。

【解答群】

1. 部品の組み合わせによるサービス連携定義
2. 実用的な機能が豊富な編集ツールで、XBRL 文書を簡単に作成
3. 2つのタクソミーの差分をチェックするツールも提供
4. 高性能 XBRL 処理エンジンを備えたフレームワークで、XBRL 対応を支援

問27. Integration プロセス統合サービスの製品において、以下の [要件] に当てはまる製品を解答群から選択してください。

[要件]

SAP R/3, B2B システムを含めた全社規模でのシステム統合を実現する、大規模・高信頼性 EAI システムを構築したい

【解答群】

1. Interstage CollaborationRing Process Manager
2. Interstage CollaborationRing Flow Controller
3. Interstage CollaborationRing EDI Server
4. Interstage CollaborationRing File Transfer Integrator

問28. Interstage Studio の機能を説明した下図において、(①)、(②)にあてはまる機能の組み合わせとして、正しいものを解答群から選択してください。



【機能】

- a. アプリケーションフレームワーク
- b. 資産管理ツール
- c. ログ管理ツール
- d. リファクタリング

【解答群】

- 1. ①－ b 、②－ d
- 2. ①－ c 、②－ a
- 3. ①－ b 、②－ a
- 4. ①－ c 、②－ d

問29. Interstage Studio が提供している機能の説明で、誤っているものを解答群から選択してください。

【解答群】

- 1. 電子フォーム作成機能
- 2. 携帯端末認証機能
- 3. 資産管理
- 4. アプリケーションフレームワーク

問30. Interstage サービス&サポートでは、技術的な課題を迅速に解決するための「テクニカルデスクサービス」を用意しています。この「テクニカルデスクサービス」で提供しているサービスとして、正しいものを解答群から選択してください。

**【解答群】**

1. ヒアリングシートに基づくお客様要件の整理
2. システムの設計やアプリケーションの開発運用に関する技術トレーニング
3. 電子メールによる Q/A に対する迅速かつ的確な回答
4. お客様の要件により、プロのデザイナーが高品質な外字を作成

## 付録2-1.模擬問題の解答用紙

### Interstage Certified Associate

問題番号	回答
問1	
問2	
問3	
問4	
問5	
問6	
問7	
問8	
問9	
問10	
問11	
問12	
問13	
問14	
問15	

問題番号	回答
問16	
問17	
問18	
問19	
問20	
問21	
問22	
問23	
問24	
問25	
問26	
問27	
問28	
問29	
問30	

## 付録2-2. カテゴリ別出題範囲

セクション	出題数(出題率)	該当問題No	あなたの正解数
Interstageの概要	1問(7%)	問1	
オープンテクノロジー	4問(27%)	問2.~問5.	
Integrationカテゴリ カテゴリ製品の特長	6問(13%)	問6.~問11.	
Integrationカテゴリ Service Integration製品の特長	2問(13%)	問12.~問13.	
Integrationカテゴリ Business Process Management製品の特長	2問(10%)	問14.~問15.	
Integrationカテゴリ Interaction Management製品の特長	3問(10%)	問16.~問18.	
Integrationカテゴリ Information Management製品の特長	8問(7%)	問19.~問26.	
Integrationカテゴリ EAI製品の特長	1問(7%)	問27	
Development Suite カテゴリ製品の特長	2問(7%)	問28.~問29.	
Interstageサービス&サポート商品	1問(3%)	問30	

## 付録2-3. 正解表

問題No	正解番号
問1	2
問2	4
問3	4
問4	2
問5	3
問6	3
問7	3
問8	3
問9	2
問10	3
問11	3
問12	1
問13	2
問14	3
問15	4

問題No	正解番号
問16	3
問17	2
問18	4
問19	4
問20	3
問21	2
問22	1
問23	4
問24	3
問25	2
問26	1
問27	1
問28	3
問29	2
問30	3

## 付録 2-4. 模擬問題解説

### Interstage Certified Associate 模擬問題解説

問1.

【正解】 2

【解説】

「オープンな統合開発環境を充実したコンポーネント、ツール群で Web システムの迅速・容易な開発を支援」する「Development Suite」カテゴリに位置づけられる製品は以下の 1 製品です。

■ Interstage Studio

上記説明により、選択肢 2 が正解となります。

[補足]

■ Interstage Apworks

Interstage V8 までの統合開発環境。V9 より「Interstage Studio」に改名。

■ CentraSite

SOA に対応したシステム構築を支援するビジネス統合ソフトウェア「Integration」カテゴリに位置づけられる

■ Interstage XWand

SOA に対応したシステム構築を支援するビジネス統合ソフトウェア「Integration」カテゴリに位置づけられる

【参考】 テキスト 1.5 Interstage V9 製品一覧

問2.

【正解】 4

【解説】

J2EE の主な機能である「Servlet」の説明は以下のとおりです。

■ Servlet

Web サーバ上で稼動する Java プログラム

上記説明により、選択肢 4 が正解となります。

選択肢 1 は「EJB」の説明。

選択肢 2 は JDBC の説明。

選択肢 3 は JMS の説明。

【参考】 テキスト 2.1 J2EE

問3.

【正解】 4

【解説】

「SOA」を実現するために関連する主な技術の説明は以下のとおりです。

■SOA(Service oriented Architecture)

サービス指向アーキテクチャ。情報システム全体を「サービス」の集まりとしてとらえ、ハードウェアやOS、言語に依存せず、共通インタフェースを通じて、自由に連携・利用できるシステム構造を規定する、ソフトウェアアーキテクチャ

■SOAP(Simple Object Access Protocol)

XML や HTTP をベースに、OS やオブジェクト・モデル、プログラム言語に関係なく、インターネットまたはイントラネットのアプリケーションやサービスの連携を図るためのプロトコル仕様

■UDDI(Universal Description, Discovery and Integration)

Web サービスとして提供されるビジネスを登録・検索するためのレジストリ仕様  
上記説明により、選択肢 4 が正解となります。

[補足]

■LDAP

ディレクトリ管理用のデータベースに接続するためのプロトコル

【参考】 テキスト 2.2 SOA 関連の主な技術

問4.

【正解】 2

【解説】

Interstage が活用している主なオープンソースについて説明します。

■Apache

世界一のシェアを誇る、WWW サーバ用ソフトウェア (Web サーバ)  
上記説明により、選択肢 2 が正解となります。

[補足]

■Tomcat

世界でもっとも活用されている JSP/サーブレットコンテナ (アプリケーションサーバ)

■Eclipse

ソフトウェア開発の共通プラットフォームとなりつつある、統合ソフトウェア開発環境

■Struts

Java を用いて開発するための Web アプリケーションフレームワーク

【参考】 テキスト 2.4 オープンソース

問5.

【正解】3

【解説】

Interstage が活用している主な標準技術とその説明は以下のとおりです。

■CORBA(Common Object Request Broker Architecture)

OMG(Object Management Group : オブジェクト指向技術の標準化と普及を目的として 1989 年に設立された非営利団体)によって規定されたオブジェクト指向技術の仕様

■XML

SGML(Standard Generalized Markup Language)というマークアップ言語のサブセットにあたる言語

■IPv6(Internet Protocol Version 6)

アドレス空間の増大やセキュリティ機能の追加、優先度に応じたデータの送信などの改良を施した次世代インターネットプロトコル

上記説明により、選択肢 3 が正解となります。

[補足]

■SIP(Session Initiation Protocol)

インターネット電話などで用いられている通信制御プロトコル。IP 電話、テレビ電話、ビデオチャット、テレビ電話などのリアルタイム性が要求されるアプリケーションで活用可能

【参考】テキスト 2.5 その他の標準技術

問6.

【正解】3

【解説】

Interstage Application Server は、SOA 時代の安定した業務サービスを支え、変化するビジネス環境にすばやく適応する高信頼・高性能なアプリケーションサーバです。

Interstage Application Server の導入により、以下のような効果が得られます。

■トラブルの事前回避と自動復旧で 24 時間×365 日の業務安定稼働

オープン技術をベースに高信頼性・高性能技術を搭載した、トラブルに強いアプリケーション実行環境です。

異常が発生しにくく、発生しても業務運用を継続できる安心機構により、あらゆる規模のシステムで業務の安定稼働・継続運用を実現します。

■複数サーバの一括操作と性能分析データの採取・可視化で、業務運用を効率化

業務の起動・停止・状態監視・入れ替えは、Web ベースの Interstage 管理コンソールで簡単に操作できます。複数サーバに配置された業務も一括操作でき、運用時の負担を軽減します。また、性能情報の採取・グラフ表示などによりレスポンス状況を正確に把握でき、業務の安定運用を支援します。

■互換性保証と標準技術によるアプリケーションのポータビリティで、資産の長期利用を実現

バージョンアップ時のアプリケーション互換を保証する機構とオープン技術の採用により、新規アプリケーションだけでなく、現行業務やオープンソース上で開発したアプリケーションなど既存資産も継続して利用できます。さまざまなアプリケーション資産を活用したシステム構築を実現します。

■インストール直後から、セキュリティ脅威に備えた安全なシステムを実現

業務システムのセキュリティ強化と操作性、運用性を兼ね備えた運用環境を実現します。難しい設定をしなくてもインストール直後からセキュアなシステムを構築でき、情報漏洩や

第三者機関によるセキュリティ監査にも対応できます。  
上記説明により、選択肢 3 が正解となります。

選択肢 1 は Interstage Traffic Director の効果です。  
選択肢 2 は Interstage SIPnet Application Container の効果です。  
選択肢 4 は Interstage Security Director の効果です。

【参考】テキスト 3.2 Interstage Application Server (1/5)

問7.

【正解】3

【解説】

Interstage Application Server は、GUI による簡単操作を可能とし、業務運用の負担を軽減するための機能として、Interstage 管理コンソールを提供しています。

■GUI による簡単操作

業務運用は、GUI (Interstage 管理コンソール) で簡単に操作可能です。また、複数のアプリケーションをワークユニットとして管理できます。業務の構築・起動・停止からプロセス多重度変更などの環境設定、実行時の資源消費や処理時間のモニタリングなど、業務の構築・運用のすべての操作を実行できます。複数サーバに配置された業務も同じビューで操作でき、システム全体の管理が容易にできます。

上記説明により、選択肢 3 が正解となります。

選択肢 1 はシングル・サインオンの説明です。

選択肢 2 はワークユニットの説明です。

選択肢 4 はホットスタンバイの説明です。

【参考】テキスト 3.2 Interstage Application Server (3/5)

問8.

【正解】3

【解説】

Interstage Application Server は、オープン技術・業界標準に対応しており、Web サービス対応の実行基盤を提供します。

■Web サービス対応の実行基盤

Web サービスの相互接続規約 WS-I BP に対応し、SOA 適用システムの基盤としてサービスの構築・運用・連携を支援します。他社ベンダーを含む他の業務サービスや .NET 環境とも容易に接続でき、業務の適応範囲を拡大できます。環境設定やアプリケーション配備など簡単な運用操作で利用でき、実用的で使いやすい Web サービスを実現できます。

WS-I BP : 世界 160 社による Web サービスの相互接続推進団体 (WS-I) が規定したガイドライン

上記説明により、選択肢 3 が正解となります。

選択肢 1 は Electronic Business XML の略。

OASIS と国連機関の UN/CEFACT が策定している電子商取引に関する XML の仕様。電子商取引における世界標準のデータ交換手法を規定・確立する。

選択肢2はCommon Object Request Broker Architectureの略。

OMG(Object Management Group:オブジェクト指向技術標準化団体)が規定したオブジェクト指向の分散処理環境を実現するための国際標準仕様である。

選択肢4はLightweight Directory Access Protocolの略。

X.500ベースのディレクトリ管理用のデータベースに接続するためのプロトコル。

【参考】テキスト 3.2 Interstage Application Server (4/5)

問9.

【正解】2

【解説】

Interstage Business Application Server は、基幹系オンラインシステムの構築に必要な制御機能とアプリケーションのコンポーネント化により、拡張性の高いオンラインシステムの構築を支援します。

■基幹業務に必要な制御機能を標準搭載

バックエンドアプリケーションを制御する、通信制御、データベース制御、トランザクション制御、ログ制御などの基幹業務に不可欠な高度な制御機能により、高信頼なシステムの短期構築が可能になります。

■既存資産を活用したシステムの短期構築

バックエンドアプリケーションの開発には Java、C 言語、COBOL など、業務の特性に応じた最適な言語を選択できます。また、メインフレームやクライアントサーバシステムの再構築には、アプリケーションの業務ロジックだけを流用して、制御機能と組み合わせることでスピーディーな開発ができます。

■Web アプリケーションの短期開発を支援

■コンポーネント化による拡張性の高いシステム構築

上記説明により、②③の説明文が正解となります。

説明文①は Interstage Job Workload Server の説明です。

説明文④は Interstage Collaboration Ring EDI Server の説明です。

【参考】テキスト 3.3.2 Interstage Business Application Server (1/2) (2/2)

問10.

【正解】3

【解説】

Interstage Business Application Server は基幹系オンラインシステムの構築に必要な制御機能とアプリケーションのコンポーネント化により、拡張性の高いオンラインシステムの構築を支援します。

基幹業務に必要な制御機能として、以下のような機能を提供しています。

- ・ 通信制御機能
- ・ トランザクション制御機能
- ・ データベース制御機能
- ・ ログ制御機能

選択肢 3 は Interstage Security Director の機能です。

【参考】テキスト 3.3.1 Interstage Business Application Server (1/2) (2/2)

問11.

【正解】3

【解説】

Interstage Job Workload Server は、バッチ処理の高速化と多重実行時の資源競合解消により、バッチシステムの計画運用と安定稼働を支援します。

■バッチ処理の安定稼働

- ・多重実行時の資源競合を解消

バッチ処理を多重実行するとファイル資源が競合する場合があります。ファイル排他機能では、バッチ処理の実行前にジョブ内で使用するすべてのファイルを排他獲得し、多重実行時の他バッチ処理とのファイル資源競合によるバッチ処理の異常終了やファイル破壊を回避します。

上記説明により、選択肢 3 が正解となります。

【参考】テキスト 3.3.2 Interstage Job Workload Server (2/2)

問12.

【正解】1

【解説】

Interstage Service Integrator は、SOA に基づく柔軟なシステム構築を支えるサービスバスを提供します。

主な特長は以下です。

- 業務パッケージ・アプリケーションと連携したシステム構築
- 部品の組み合わせによるサービス連携定義
- サービス連携テスト支援

選択肢 1 は誤りです。

「最新仕様準拠の XBRL フレームワークで財務情報の流通を支援」は Interstage XWand Manager の特長です。

【参考】テキスト 4.2.1 Interstage Service Integrator

問13.

【正解】2

【解説】

CentraSite は、サービスの設計・開発・公開といったライフサイクル全体を通して、企業ポリシーに沿った開発・運用を可能にします。

■サービスを登録しサービス情報を一元化

サービス記述の国際標準言語 WSDL をサポートし、多様なパッケージやソフトウェアのサービス情報をインポートし登録できます。

■サービス変更時の影響分析

停止や変更の影響を受けるサービスを一覧にしたり、影響を受けるサービスの関係する利用者や管理者、アプリケーションの情報を一覧にすることが可能です。

■ルールベースのアクセス管理

利用部門や開発者・管理者などの役割（ロール）に合わせて、適切なサービス情報へのアクセスを制御できます。

選択肢 2 は、誤りです。

「Systemwalker Service Quality Coordinator と連携でき、複数のサービスバスの運用状況を 1 ヶ所に収集」は、Interstage Service Integrator の機能です。

【参考】テキスト 4.2.2 Centrasite

問14.

【正解】3

【解説】

Interstage BPM Flow は、業務プロセスの制御と管理により、ビジネスプロセス・マネジメントを支援するソフトウェアです。

－多様なプロセスをシステム化

「多数決」、「作業の受理/拒否」や「権限委譲」のような、よくある人間の作業とシステム動作を統合して多様な業務の流れをシステム化できます。

－柔軟性のあるプロセス制御

プロセスを構成する各作業には前処理と後処理が GUI 画面で設定できます。

－業務滞留を防止するエスカレーション機能

承認処理などの作業が規定時間を超過した場合、処理を促すメールの送信や、別の担当者へ作業を振り向けることができます。時間は GUI 画面または、前処理で設定できます。

－Web ベースのモニタ画面で進捗確認が可能

業務プロセスの進行状態を Web ブラウザから簡単な操作で確認できます。

選択肢 3 は誤りです。

「分析対象のデータを CSV ファイルのまま利用」は Interstage Navigator のサポートする機能です。

【参考】テキスト 4.3.1 Interstage BPM Flow

問15.

【正解】4

【解説】

・業務データの監視

ESB、RDB、CSV/テキストセンサーで収集したイベントを逐次集計して最新の状況を可視化できません。

選択肢 4 は誤りです。

「ログセンサー」は架空のセンサーです。

【参考】テキスト 4.3.2 Interstage BPM Monitoring

問16.

【正解】3

【解説】

Interstage Interaction Manager は、快適な操作性を備え統制の取れた Web システムを実現するソフトウェアです。

■作業効率を高める Web アプリケーションの実現

・アクセス制御

利用者の役割に応じた情報や業務の構築を行い、不要なシステムへのアクセスを防ぐために、ルールを定義できます。これにより、不正アクセスの防止ができます。さらに、アクセス時などのログを残すことで、情報アクセスの監査に活用できます。

説明文①は、Interstage Navigator Explorer Server が提供する機能の説明です。

説明文②は、Interstage Application Server が提供する機能の説明です。

説明文④は、Interstage Shunsaku Data Manager が提供する機能の説明です。

【参考】テキスト 4.4.1 Interstage Interaction Manager

問17.

【正解】2

【解説】

Interstage Realtime Communicator は、ユビキタス環境でのリアルタイムな情報活用を実現する、ユビキタス基盤ミドルウェアです。

■状態変化に応じて適切な端末に情報を通知するシステムを構築

端末の状態や作業の進捗状況など、「人」「もの」「サービス」の状態（プレゼンス情報\*）の変化をリアル

タイムに監視するプレゼンス管理機能と、その変化をもとに PUSH 型で情報を通知する機能を搭載しています。状態の変化に応じて、情報を必要とする人へ確実に通知するシステムを容易に構築できます。

■携帯電話に対応したコンテンツ変換

利用する携帯電話機に合わせてコンテンツを変換できます。i モードのコンテンツを作成すれば、EZweb、Yahoo!ケータイの各携帯電話機からも利用可能なシステムを短期に構築できます。

■音声と Web で作業の安全性と確実性を確保

業務システムをマウスやキーボードで操作するように、音声で操作できます。

両手が入力操作から開放され、特に作業現場など、両手を使う作業の効率を向上できます。さらに、音声入力結果を Web の画面で確認できるため、作業ミスを防ぎ安全性・確実性を確保できます。

選択肢 1 は、Interstage SIPnet VoiceXML Server が提供する機能です。

選択肢 3 の情報配信機能は、PULL 型ではなく PUSH 型です。

選択肢 4 は、Interstage Traffic Directo が提供する機能です。

【参考】テキスト 4.4.2 Interstage Realtime Communicator

問18.

【正解】4

【解説】

Interstage Mobile Manager が提供する、ユビキタス環境で携帯電話を利用した業務システムを容易に開発する機能の説明です。

・かんたん開発で快適な操作性

cHTML による画面定義だけで、携帯電話の機能を使用した携帯電話アプリケーションを開発できます。

作成した画面は、入力項目の妥当性チェック、次の入力フィールドへのフォーカス自動移動、ボタン1つでカメラ・バーコードの読取が可能といった快適な操作性を提供できます。圏外でも画面を携帯電話にダウンロードしておくことで、業務を継続できます。

【参考】テキスト 4.4.3 Interstage Mobile Manager

問19.

【正解】4

【解説】

Interstage 帳票ソリューションは、「セキュリティ」と「活用」のベストバランスを実現し、内部統制を支える帳票マネジメントであり、以下の特徴をもっています。

- ・「帳票の電子化・一元管理によりコストダウンを実現」
- ・「現場で利用できる形式で出力し帳票活用を促進」
- ・「アクセス制御とアクセスログ管理によりセキュリティを強化」

選択肢4の「将来の拡張性を見据えた EDI システムを実現」は Interstage CollaborationRing の特徴です。

【参考】テキスト 4.5.1 帳票ソリューション

問20.

【正解】3

【解説】

Interstage List Works は、電子化した帳票をセキュアに守り、有効に活用するシステムです。

■帳票電子化で、運用コストを大幅に削減

帳票の電子化により、仕分け・配信作業を自動化できます。仕分けから PDF 形式でのメール配信、FAX 配信、プリンタ印刷の自動化により、帳票の紛失や誤配送などのトラブルを防止できます。

紙での運用と比べて、運用・管理コスト（印刷費、用紙代、仕分け作業にかかる人件費、保管費、運送費など）を大幅に削減が可能です。

選択肢3は誤りです。「FTP 転送」機能はありません。

【参考】テキスト 4.5.2 Interstage List Works

問21.

【正解】 2

【解説】

Interstage List Creator の主な特徴は以下のとおりです。

- ・高精度なバーコード出力
- ・データ活用を飛躍的に高める Excel 出力
- ・高品位・高速な PDF 生成

選択肢 2 は誤りです。

「業務サービスのインタフェース差異を吸収する部品」は Interstage Service Integrator の機能です。

【参考】 テキスト 4.5.3 Interstage List Creator

問22.

【正解】 1

【解説】

Interstage Charset Manager はメインフレームからオープン環境まで、どのようなアプリケーションでも共通の文字運用ができます。

- ・ 外字を作らなくてもすぐに使えます  
外字ライブラリは、戸籍統一文字や住民基本台帳管理ネットワーク統一文字をはじめとして、主要メインフレームベンダー文字や最新の JIS2004 規格までを収録しています。外字を作成せずに、文字データ集の中から検索して選ぶだけで登録・運用できます。
- ・ 外字入力効率が格段に向上  
Word や Excel などのさまざまなアプリケーションで、外字を効率的に入力することができます。
- ・ Web アプリケーションでも外字が使用可能（業界唯一！）  
これまで不可能とされていた Web での外字入力/表示を簡単に実現できます。

選択肢 1 の「電子化した CSV ファイルに出力して他アプリケーションで活用」は、Interstage List Works の特徴です。

【参考】 テキスト 4.5.5 Interstage Charset Manager

問23.

【正解】 4

【解説】

Interstage Navigator Server は以下の機能を提供します。

－データ公開の制限

テーブル、項目単位の設定だけでなくレコード単位でもデータ公開を制限できます。利用者の業務内容に合わせたきめ細かいデータ公開が可能です。

－高性能

処理能力の高い 64 ビット環境や大規模向け DBMS に対応しているため、大容量データに強い情報活用システムを構築できます。

ー作成したレポートの Web 共有

作成した定型レポートの Web 上での公開や、公開した定型レポートの自動更新・条件の変更による更新ができます。

選択肢 4 は誤りです。

「業務指標（KPI）を設定することにより、納期遅延などの異常を検出」のは、Interstage BPM Monitoring の機能です。

【参考】テキスト 4.5.7 Interstage Navigator Server

問24.

【正解】3

【解説】

Interstage Navigator Server は、以下の機能を提供します。

■分析対象のデータを CSV ファイルのまま利用

・低コスト、短期間での導入

ー簡単操作でレポート作成

分析データが CSV ファイルの場合も、自由に分析視点を追加したり、時系列分析の機能を使用しながら、簡単にレポートを作成できます。

ー想定外の利用者要件に柔軟に対応

システム構築時に想定できなかった新しい分析要件に至急対応したいといった場合にも、CSV ファイルを登録するだけで、簡単に分析できます。

前日分をデータベースから、当日午前中を CSV ファイルから取り出し、1つのレポートとして作成するなど、データベースと CSV ファイルを結合した利用も可能です。

選択肢 3 は、誤りです。

分析データが CSV ファイルの場合にも管理ポイント（分析視点）を利用できます

【参考】テキスト 4.5.7 Interstage Navigator Server

問25.

【正解】2

【解説】

Interstage Shunsaku Data Manager は、不定長・不定数項目のデータ、形式の異なるデータ、途中から項目変更されたデータなど、形式を揃えずに格納・管理されたデータに対して容易に対応することができます。

形式の異なるさまざまなデータを、XML 形式のデータとして集約・一元化して、共通のキーで横串検索することができます。

データを「あるがまま」に格納し、「思うがまま」に検索・活用する Asis コンセプトの新しいデータベースエンジンです。

選択肢 2 が正しい説明文です。

【参考】テキスト 4.5.8 Interstage Shunsaku Data Manager

問26.

【正解】1

【解説】

- 高性能 XBRL 処理エンジンを備えたフレームワークで、XBRL 対応を支援
  - 実用的な機能が豊富な編集ツールで、XBRL 文書を簡単に作成
- また、2 つのタクソノミーの差分をチェックするツールも提供しています。タクソノミー改版時の変更箇所確認など、タクソノミーの作成・保守で役に立つツールです。

選択肢 1 は誤りです。

「部品の組み合わせによるサービス連携定義」は、Interstage Service Integrator が提供する機能です。

【参考】テキスト 4.5.9 Interstage XWand

問27.

【正解】1

【解説】

- Interstage CollaborationRing Process Manager
- SAP R/3、B2B システムを含めた全社規模でのシステム統合を実現する、大規模・高信頼性 EAI システム構築ソフトウェアです。

上記説明により、選択肢 1 が正しいです。

【参考】テキスト 4.6 EAI

問28.

【正解】3

【解説】



Interstage Studio は、Web フロント、EJB/Web サービスから電子フォームアプリケーションの開発までのサポートし、UML モデリングによる上流工程から下流工程まで開発ライフサイクル全体をカバーして、高生産性・高品質のシステム構築を実現する「統合開発環境」です。設計から開発・デバッグ・運用の各フェーズで有効で強力な支援機能を提供しています。

■設計支援

UML モデリングツールを搭載しています。

また、Web システムの効率的な設計、設計情報レベルでのアプリケーション再利用化の促進、ソース自動生成など、開発期間の短縮・生産性の向上を支援します。

■開発支援

業務アプリケーション開発に有効な実用的コンポーネント、アプリケーションフレームワークによる Web システム開発により、効率的な開発を支援します。

■デバッグ支援

テスト用アプリケーションサーバを同梱しており、スタンドアロン環境でのデバッグを支援します。

■運用支援

アプリケーションサーバとの強力な連携により、運用サーバへの資源配備を簡単操作で行うことができます。また、資産管理ツールを同梱しており、資産管理・保守性向上を実現します。

上記説明により、選択肢 3 が正解となります。

【参考】テキスト 5.2 Interstage Studio とは

問29.

【正解】2

【解説】

Interstage Studio の機能一覧は以下のとおりです。

■ワークベンチ

- ・Eclipse 3.2

■Java プラットフォーム

- ・JDK 5.0
- ・JDK 1.4.2 (J2SE 1.4.2)

■アプリケーション開発

- ・JSP/JSF/Servlet/HTML
- ・JavaScript
- ・Enterprise JavaBeans
- ・PureJava/JavaBeans/Applet
- ・Web サービス
- ・COBOL アプリケーション
- ・CORBA アプリケーション

■実用的なコンポーネント (Java 画面、アプレット)

■アプリケーションフレームワーク

■電子フォーム作成機能

■デバッグ・運用テスト

- ・スタンドアロンテストサーバ
- ・運用環境への一括配備
- ・Web サービス送受信データの視覚化

■資産管理

選択肢 2 は Interstage Security Director の機能

【参考】テキスト 5.4 Interstage Studio の機能一覧

問 30.

【正解】3

【解説】

「テクニカルデスクサービス」は、コミュニケーションによる技術支援サービスです。Interstage を利用したシステムの設計からアプリケーションの開発・テストにおいて発生するさまざまな技術的問題・質問に対して、IT エキスパート迅速かつ的確に回答します。主なサービスは以下のとおりです。

■基本サービス (Q&A サービス)

・電子メールによる Q&A に対する迅速かつ的確な回答

■オプションサービス (オンサイトミーティング)

・IT エキスパートがお客様を訪問し、技術支援 (オンサイトミーティング)

上記説明により、選択肢 3 が正解となります。

選択肢 1 は、「スタートアップサービス」のサービス内容です。

選択肢 2 は、「テクニカルトレーニングサービス」のサービス内容です。

選択肢 4 は、「プロフェッショナルサービス」のサービス内容です。

【参考】テキスト 6.3 テクニカルデスクサービス



**THE POSSIBILITIES ARE INFINITE**